

令和7年10月に開催されたプロ野球12球団による新人選手の指名会議（ドラフト会議）で、本市の高校生が指名された。今回は、彼のこれまでの野球人生とこれからプロ野球選手として踏み出す思いに寄り添う。



「人のとなりに」とは…文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人ととなり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

人のとなりに

伊藤大晟さん

「伊藤大晟。テレビから名前が呼ばれると、会場は大歓声に包まれた。れいめい高等学校3年生の伊藤大晟さんは、令和7年10月23日に東京都で開催されたドラフト会議で、東北楽天ゴールデンイーグルスから5位指名された。中継を見る表情は、緊張した様子だったが、名前が呼ばれたと大分県から駆け付けた両親、監督らと握手や抱擁を交わした。その後の会見で、「緊張したけど、素直にうれしい。これまで関わってくれた全ての人に感謝したい」と興奮した面持ちで語った。共に高校時代を過ごしたチームメイトによる胴上げが行われ、みんなで指名を喜んだ。

父と始めた野球

「小学4年生の時、父が監督を務める少年団の体験に行ったことが野球を始めるきっかけだった」と話す。野球を始めた当初からピッチャーを主に、外野手なども経験してきたが、「三振を取ったときの爽快感が好きだから」とピッチャーを選んだ理由を教えてくれた。父と一緒に野球をする中で、お前がエースだと言われたことが印象に残っていると言いつ、エースとしての自覚を持ちチームをけん引した。中学時代は、地元のクラブチームに入部。球速は134キロを記録し、九州選抜に選出されるなど活躍した。

仲間と共に

「中学校の先輩と一緒に野球がしたくて、練習を見学したら雰囲気良かった」と親元を離れ、大分県から本市のれいめい高等学校に進学。甲子園出場を目指して練習に励んだ。馬力のあるストレートとキレのあるスライダーを武器に1年生の秋からベンチ入りし、秋季九州大会に出場。2年生になると、球速は147キロを記録した。これがプロを目指すきっかけとなったという。練習では筋力向上のために走り込みを重点的に行った。また、指導者からピッチングの考え方や配球を教えてもらったことで視野が広がり、球速アップにつながった。3年生となりエースナンバーを背負い最後の大会に臨む直前の練習試合で、顔に打球が当たり手術を受けた。リハビリやトレーニングを行う中で、練習や試合ができず焦りや不安もあったが、チームメイトや指導者の声掛けが頑張るモチベーションとなったと話す。そしてれいめい高等学校は、夏の県選手権大会で45年ぶりの決勝戦進出。惜しくも甲子園出場は叶わなかったが、これが高校時代で最も思い出に残った試合になったという。



夢の舞台へ

令和7年12月5日に、宮城県で行われた入団会見に出席した背番号は79番。たくさんの方に支えられてここまで来ることができた。まだスタートラインに立つばかり。小さい頃から憧れる松井祐樹選手のように、みんなに夢を与える選手になりたい。応援よろしくお願いします」と話す。これからの抱負と感謝の気持ちを胸に薩摩川内市から仙台市（宮城県）で、夢であったプロ野球選手としての道を一歩踏み出す。

図書館へ



▲図書館ホームページ

おすすめ本



人間として正しい生き方を志し、ひたすら貫き続けることが、今の私たちに求められている。京セラ(株)とKDDI(株)を創業した著者が、その成功の礎となった「人生哲学」を語り尽くす一冊。



ブログがきっかけで偶然出会った大手商社に勤める栄利子と専業主婦の翔子。互いに良い友達になれそうと思った2人だったが、あることが原因でその関係は思いよりもぬ方向に。



「農家なんてかっこ悪い!」と思っていたはずの恵介。父が倒れ、イチゴ農家を継げと迫る母。猛反対の妻。つづれかけたイチゴ農家の再起を賭け、新たな人生を模索する家族の物語。

生き方
著 / 稲盛和夫

ナイルパーチの女子会
著 / 柚木麻子

ストロベリーライフ
著 / 荻原浩



うさぎさんが小さな椅子を作って、野原の木の下に「どうぞのいす」と書いて置きました。ある日、疲れたらうさぎさんがどんぐりの入った籠を椅子に置いて昼寝をしているの不思議なことが。



何かならうとしても失敗してしまうカバくん。どうしたらよいか思いつくまでちょっと一休み。おっとりとしたカバくんをユーモラスな絵と言葉で描く、元気をもらえる一冊。



北海道のホッケ焼き、栃木県のカンピョウの玉子とじ、千葉県のイワシのゴマ漬け、沖縄県のラフテーなど。47都道府県の郷土料理を写真とともに紹介する一冊。

どうぞのいす
作 / 香山美子 絵 / 柿本幸造

ぼちぼちいこか
作 / マイク・セイラー 絵 / ロバート・クロスマン 訳 / 今江祥智

にっぽんのおかず
著 / 白沢篤司

新着本



海のおかちゃん
著 / でんか 監修 / 杉本幹

珈琲色のテーブルクロス
著 / 赤川次郎

いい文章
著 / 阿部統久

おばあちゃんのサターアンダギー
作 / 上條さな絵 / こやまもえ

だんごむしとまんまるおつきさま
作・絵 / 伊藤知紗

まほうのアブラカタブレット
作 / 如月かずさ 絵 / イシヤマアズサ

■中央図書館に「授乳室」ができました

赤ちゃんと一緒に安心してご来館いただけるように、中央図書館2階に「授乳室」を設置しました。内鍵がかかるため、安心して授乳やおむつ替えなどができます。
図書館をご利用の方は、赤ちゃんの泣き声などへのご理解をお願いします。
【授乳室内の設備】授乳ソファ、おむつ交換台、水道(お湯は使えませんので持参ください)※使用済みおむつなどのごみはお持ち帰りください。※ご利用の際は、スタッフにお声掛けください。
問合先 / 中央図書館 ☎(22) 3542



問合先

中央図書館	☎0996(22) 3542
樋脇分館	☎0996(38) 0009
入来分館	☎0996(44) 5311
東郷分館	☎0996(42) 0053
祁答院分館	☎0996(21) 8755
里分館	☎09969(3) 2958
上郷分館	☎09969(2) 0031
下郷分館	☎09969(7) 0311
鹿島分館	☎09969(4) 2211